

1, 2820 地区 PHS 顕彰パーティーを開催

当地区のポールハリスソサイエティが110人を超えました。地区会員数に占める割合は6%に迫り、日本一の認証率となっています。

来賓に、ロータリー財団第1地域コーディネーターの飯村慎一様、コーディネーター補佐の梶原等様をお招きし、認証者110名の皆様方に、PHSのステータスを称える、特別の機会を提供させて頂きました。

大野ガバナーの積極的な働きかけとともに、地区内会員の皆様方のR財団に対するご理解ご協力に心より感謝申し上げます。



2, 2820 地区ロータリー財団セミナー

1月14日、テラス・ザ・ガーデン水戸において地区ロータリー財団セミナーを開催しました。今後の奉仕活動の計画に役立てていただくために、2021-2022年度におこなった、各クラブの地区補助金事業を共有しました。

また、人道支援・奨学金・VTTなど、グローバル補助金の活用状況や、災害救援補助金を活用したウクライナ支援、ポリオ根絶活動の現況、ロータリーカードの利用推進について各担当委員から説明させていただきました。

その中で、9年ぶりにVTTが承認され、つくばサンライズRCが3810地区（フィリピン）と協働する、歯科医療プロジェクトについて詳しい説明がありました。3810地区ジョイスガバナーのリーダーシップにより2月に実施されます。



3, ウクライナ支援の現況

2820地区から始まった災害救援補助金を活用した、ムシエン村復興プロジェクト（仮設住宅設置）は、約100棟の引き渡し完了し、300棟の目標に向け設置が進められています。そして昨日、2232地区（ウクライナ）のボンダレンコパストガバナーから、ムシエン村に仮設診療所が設置され、災害救援補助金で購入された救急車も到着し、現地の1次医療が機能し始めたとの連絡がありました。これらのプロジェクトに関し、第51回ロータリー研究会において、ジェニファーRI会長やイアンR財団管理委員長から激励を頂くとともに2232地区ウクライナの皆さんから感謝の言葉を頂いたことを報告します。

そして、R財団管理委員会はウクライナ支援のための新たな災害救援基金の設置を承認しました。今後、地区執行部と当地区の基金への寄付や補助金の活用を検討してまいります。



4, 地区DDFの状況

2022-2023年度地区補助金は各クラブへの送金完了しています。事業が完了したクラブは完了後1か月以内に報告書の提出をお願いします。

GG奨学金1件が承認され、水戸RC推薦の佐藤ひかる様（メルボルンカトリック大）に支給されます。

友好地区3810地区ジョイスガバナーから依頼のVTTが承認され、フィリピンで歯科医療技術指導が2月に実施されます。

GG準備中が1件、提出済承認待ちが3件あります。また、9月入学予定者のGG奨学金の希望者が複数名おり、国際奉仕委員会が面接の準備を進めています。

国際ロータリー第2820地区
ロータリー財団委員会総括委員長
新井和雄